広　報
Public Relations Magazine

ちっぷべつ

11
November 2026
No.675

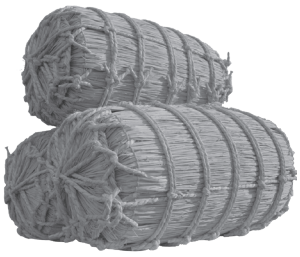
■ 新米普及マラソン大会を開催しました・2
■ 町政功労者顕彰式を開催しました・・・3
■ 秩父別町限定カプセルトイ設置・・・・4
■ 議会だより・・・・・・・・・・・・・6
■ 自衛隊募集対象者の除外申請について・15
■ 教育通信・・・・・・・・・・・・・・・17
■ 冬期地域振興券を発行します・・・・・20



ハロウィンマルシェ

10月18日、ちっくる周辺を会場に「ちっぷべつハロウィンマルシェ」が開催されました。会場には約1,000個のカボチャが飾られ、ハロウィンならではの雰囲気に包まれました。

第15回
秩父別産新米普及マラソン大会



10月11日（日）、秩父別産のおいしい新米をＰＲする「第15回秩父別産新米普及マラソン大会」がローズガーデンを発着として行われ、道内外から873人のランナーが出場しました。

ランナーは、ハーフ、10㎞、３㎞、親子ペアの種目に分かれてスタートし、家族や友人などの声援を背に息を弾ませ、田園風景が広がるコースを駆け抜けました。

今大会のゲストランナーには、オリンピック女子マラソンにおいて２大会連続でメダルを獲得された有森裕子さんをお迎えし、効果的なストレッチ方法の助言やコース上でランナーに声援を送っていただくなど、大会を大いに盛り上げていただきました。

出場したランナーには参加賞として、秩父別産新米「ゆめぴりか」２kg、トマトジュース「あかずきんちゃん」、秩父別温泉ちっぷ・ゆう＆ゆの無料入浴券等が配られたほか、ゴール後には新米ゆめぴりかのおにぎりが手渡されました。



２台の白バイに先導されてスタート！



コース上で声援を送る有森裕子さん



最終ランナーとともにゴールイン！


ゴール後に新米のおにぎりを受け取るランナー


抽選会の特賞当選者には旅行券が送られました



ハーフの部、10㎞の部の優勝者には新米1俵（60kg）贈呈！

※ 本事業はスポーツ振興くじ助成を受けて実施しています。

令和8年度

町政功労者顕彰式



10月30日（金）、町政の振興に多大なるご貢献をいただいた方を顕彰する、令和８年度町政功労者顕彰式を行いました。

式では、町長から顕彰状と功労章が授与され、出席した表彰審議会委員や名誉町民及び議会議員の方々がそのご功績をたたえました。



自治功労賞　吉田　光博氏
産業功労賞　境谷　博之氏

【自治功労賞】吉田 光博 氏のご功績



平成26年から農業委員会委員として4期12年にわたりお務めいただき、平成29年からは会長職務代理、令和2年からは会長として、農地利用の最適化を推進するため、担い手への農地集積・集約化や遊休農地の発生防止に積極的に取り組まれました。

また、秩父別・北いぶき農業協同組合の理事、監事を歴任するなど、長年にわたり本町農業の発展にご尽力いただきました。

【産業功労賞】境谷 博之 氏のご功績



平成22年から秩父別土地改良区の理事、平成26年からは副理事長を務められ、平成30年から令和8年までの8年間にわたり理事長として、各種土地改良事業の推進や、水路のパイプライン化による安定的な用水供給と管理の省力化等にご尽力いただきました。

また、平成26年から平成29年まで農業委員会委員、平成30年から令和8年まで表彰審議会委員としてもご尽力いただいております。

「秩父別町限定カプセルトイ」が道の駅に設置されました！

道の駅「鐘のなるまち・ちっぷべつ」に秩父別町限定カプセルトイが設置されました。

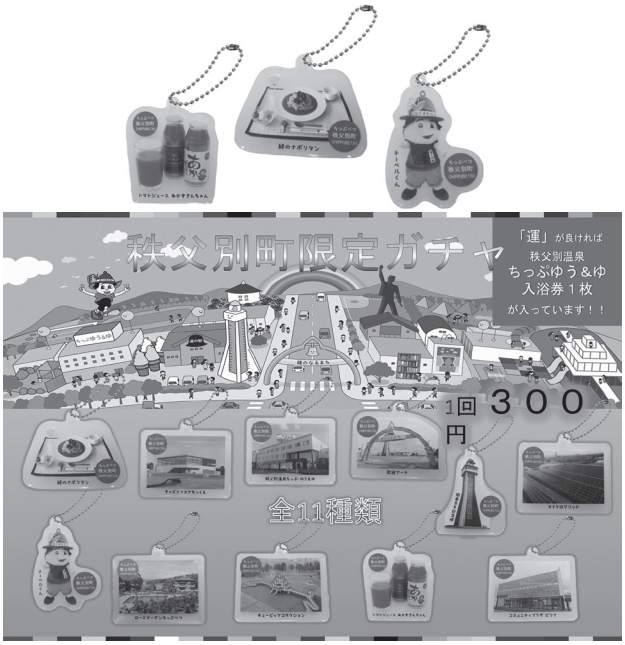
ＰＲキャラクターの「チーベルくん」やご当地グルメの「緑のナポリタン」、「開基百年記念塔」、「キュービックコネクション」など、秩父別町ならではのものがデザインされた、全11種類のアクリルキーホルダーです。

カプセルトイは当たり付きとなっており、当たりのカプセルにはアクリルキーホルダーとともに、秩父別温泉ちっぷ・ゆう＆ゆの入浴券が１枚入っています。

ここでしか手に入らない限定品となっております。ぜひ、コンプリートしてみてはいかがでしょうか。

〇価格…１回300円、全11種類
〇道の駅営業時間…午前９時から午後５時まで（11月～３月は午前９時から午後４時まで）

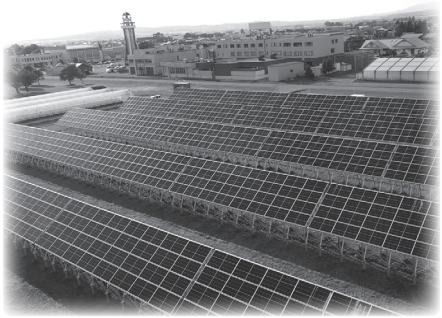




お問い合わせ　企画課企画・まちづくり係　０１６４－３３－２１１１（内線72）

秩父別町マイクログリッド設備　発電実績等

区　分	単　位	R8. 9	R7. 9	前年比
エリア内使用電力	kWh	84, 712	95, 665	−10, 953
うち発電電力	kWh	36, 694	41, 997	−5, 303
電力自給率	%	43. 3	43. 9	−0. 6
CO2 排出削減量	kg−CO2	19, 631	22, 468	−2, 837
杉の木換算※	本	1, 402	1, 605	−203



※ 杉の木１本は１年間に約 14kg の CO_2 を吸収するとされています。
※ エリア内公共施設：秩父別温泉、交流会館、ファミリースポーツセンター、道の駅、さわやかトイレ、ふれあいプラザ、開基百年記念塔、図書館、農産物加工センター

いきいきちっぷ'S

お口の健康を守る“唾液（だえき）”の働き

食事を楽しんだり、話す・笑うなど、健やかな暮らしを送るうえで口は大切な役割を担っています。
唾液は**口腔内の免疫機能を上げ、噛むことで脳に与える刺激は認知力の向上や記憶力の強化に関係**しています。カラダ全体の健康を陰で支える“**唾液**”についてご紹介します。

唾液の働き

お口を清潔にする



“食べかす”を洗い流し、細菌の増殖を抑える

むし歯・歯周病を予防する



食事などで酸性に傾いた口内を中和し歯や歯ぐきを守る

食べ物を飲み込みやすくする



食べものを柔らかくして喉ごしをよくする

味を感じやすくする



食べ物の味をしっかりと感じることができる

お口の乾燥を防ぐ



食べ物をよく噛み口呼吸を避けると口腔内の乾燥を防止

唾液の分泌量を増やすには

唾液の分泌を促すポイント４つ！

1日の唾液分泌量
20代約1～1.5L
高齢者は1/7程度

よく噛む



噛むことで唾液腺が刺激される

こまめに水分をとる



水やお茶でお口を潤す

口のまわりの筋肉を動かす



口を大きく開ける・閉じる・舌を動かす等の体操が効果的

酸味のある食品をとる

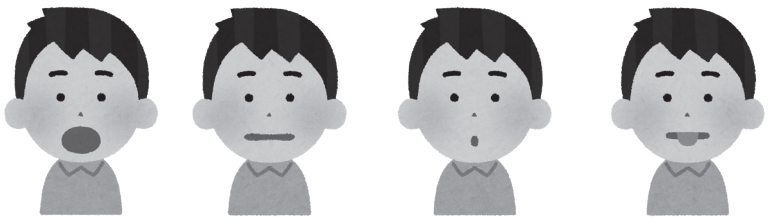


レモン・キウイ・酢などの酸味が唾液の分泌を促す

＊あいうべ体操の効果＊

- 口呼吸⇒鼻呼吸へ！（口まわり・舌の筋力強化）
- 唾液分泌量の向上⤴⤴
- 誤嚥（ごえん）を防ぐ★
- 笑顔力増し増し♥
- 表情の若々しさアップ♪

◆あいうべ体操でお口から健康作り◆



口を大きく開けて「あー」　大きく横に口を開く「いー」　口を前に強く突き出す「うー」　舌を思い切り下に伸ばす「べー」

1日の目標30回！毎食後各10回やテレビを観ながら、運転中や入浴時にも♪

お問い合わせ　住民課健康推進係　電話　０１６４－３３－２１１１（内線48）


認定こども園サツマイモ収穫体験の様子

No. 151
議会だより
発行/秩父別町議会
編集/広報公聴常任委員会
TEL/0164-33-2111
（議会事務局 内線25・26）

22年ぶりに議員報酬を改正

◎議員報酬増額改正

・議長	３０万２千円（３万４千円増）	・副議長	２３万９千円（２万７千円増）
・委員長	２１万９千円（２万５千円増）	・議員	２０万円（２万３千円増）

町長から諮問を受けた秩父別町特別職報酬等審議会から増額改正の答申により、条例の改正を行いました。

町村議会議員の報酬は、高卒初任給を目安として決定してきましたが、平成15年から22年間据え置いていました。

審議会委員からは、増額に対して反対意見が示されたほか、議員活動の可視化を求める意見などが付帯意見として付されました。また、増額しても議員のなり手不足の解消につながらないとの意見もありましたが、人口減少、なり手がいないからと議員定数を削減するやり方では、行きつく先は議員定数の極小化でしかない（議会の役割が果たせない）との専門家の意見があります。議会としては、改選を控えて女性や若い方などが少しでも議会に興味を持っていただければとの思いで決定しました。

本条例は、来年の改選後から適用となりますが、現職の我々もいただいた付帯意見と真摯に向き合い、議会の活性化や議員の資質向上等に努めます。

◆第３回定例会

◎条例改正

地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について

◎令和７年度決算を認定しました

一般会計では、義務教育学校増改築、備品購入等で21億３千万円、町の貯金にあたる各種基金に13億７千万円を積み立て、歳出合計は78億８千万円（前年比５億６千万円増）でした。

一方、歳入では最も大きな割合を占める寄付金（ふるさと納税）は22億７千万円（前年比８億円増）となりました。

決算審査は、決算審査特別委員会を設置し行われました。

また、眞島議員、松永議員、藤岡議員、寺迫議員が一般質問を行い、理事者の考えを質しました。

◎補正予算

今定例会の一般会計補正予算が９，５３０万円増額されました。主な事業は次のとおりです。

- 熊本地震義援金　５０万円
- 特定空き家解体　１，５５１万円
- エアコン設置補助金　３０５万円
- 総合福祉センターの子供用玩具購入　７８万円

その他、国民健康保険など特別会計の補正予算を可決しました。

◎意見案

国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見案を承認し、内閣総理大臣ほか関係大臣等へ意見書を提出しました。

◎人事案件

【教育委員会委員】

中央西町内会
遠藤　洋子　氏（新任）



【固定資産評価審査委員会委員】

南町内会
安藤　聡美　氏（再任）



第3回町議会定例会

一般質問

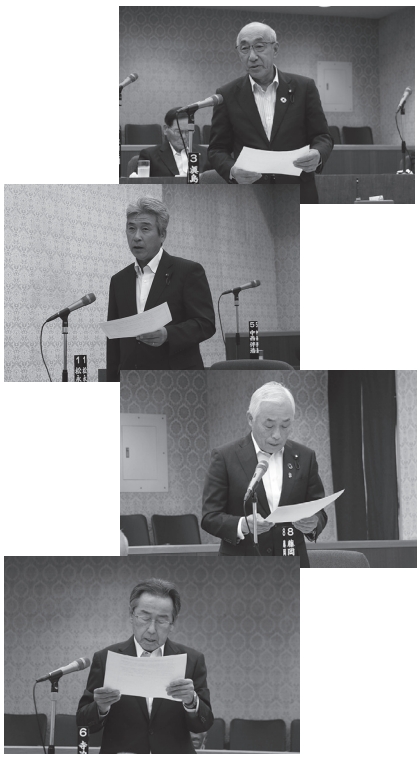
（質問と答弁の内容を要約してお知らせします）

眞島（ましま）　秀樹（ひでき）　議員
▼水害対策に使用するトラクターポンプ（斜流ポンプ）の更新について

松永（まつなが）　徹（とおる）　議員
▼部活動・少年団活動について

藤岡（ふじおか）　浩文（ひろふみ）　議員
▼防災士養成後の防災計画について

寺迫（てらせこ）　公裕（きみひろ）　議員
▼次期町政担当の意思を聞きたい



質問　眞島　秀樹　議員

水害対策に使用するトラクターポンプ（斜流ポンプ）の更新について



先日、世界の海水温度が観測史上最高を記録したという報道がありました。

これによる危惧の一つとされているのが異常気象の激化であり、国内でも8月に線状降水帯発生により水害が多発し、各自治体では対策に苦慮されていることが伺われたところです。

本町においては澁谷町長が就任時から防災対策にご尽力され、町民にも防災に対する意識は広く定着していることが感じられます。

しかし、町内では毎年のように大雨により河川が増水し、低い農地への浸水が少なからず発生しており、境川排水機場で大雨時に河川への排水作業が行われ、それに連動して町が所有するトラクターポンプも後方支援をされていると思います。

しかしながら、このトラクターポンプは購入から40年以上が経過されているものと存じます。修理こそまだ対処可能とはお聞きしますが、長年にわたる経年劣化、各部品の消耗等で能力低下が心配されます。

万全の状態で稼働できるようにトラクター本体も含めた当該ポンプの更新をご検討されてはいかがかと思いますが、町長のお考えをお伺いいたします。

町長答弁

次年度に向けて万全の体制を整えたい



現在、町で所有しておりますトラクターポンプは、低地帯の洪水対策を目的として昭和59年度に導入して以来、今年で42年間使用しています。主に市街地の雨水が集まる南2条2丁目境川付近の内水を排水するため設置され、境川排水機場の運転と併せて稼動しており、住宅や農地浸水の軽減を図っています。

今年度も降水時期を迎える前に動作確認を行ったところ正常に作動したため、境川付近に設置し再度試運転したところ機材が適正に作動しないことが判明し、業者に点検依頼したところでありますが、部品の交換で改善されるとの報告を受けており、現在修理を進めています。次年度に向けては万全の体制を整えたいと考えています。

現在のポンプが直らない場合は新たな機材を導入しなければなりませんが、今後の修理の状況を見ながら検討させていただきます。

また、トラクターにおいては一定の年数を経過していますが大きなトラブルもなく、当面は必要なメンテナンスを施しながら維持して参りたいと考えています。



町所有の防災ポンプ

質問　松永 徹 議員　部活動・少年団活動について



春の全国学力テストで秩父別学園が全国平均を大きく上回ったとのことで、これは子ども達の努力もさることながら、放課後学習塾等の環境整備の賜物であると深く感謝申し上げます。

子ども達の成長において勉学も大事ですが、スポーツや音楽等勉強以外のところも大変重要だと思います。近年は少子化で近隣と合同でチームを組まなければならない競技が増えました。それにより保護者・指導者の負担が大きくなりました。今後も子ども達にやりたい競技ができる環境を守るための検討をしていただけないでしょうか。

早川教育長答弁　どのような支援が効果的か検討します

子ども達がスポーツや文化活動を通じて豊かな人間性を育む環境を守ることは教育委員会の重要な使命であると認識しています。

部活動は教育課程の一環として行われる活動であり、スポーツ少年団は社会教育の一環となることから、支援の考え方に違いがあるところです。

各少年団に対しては年間7万円を上限に補助金を交付し、全道や全国大会出場の際には別途支援を行っておりますが、合同チーム化に伴い新たな課題が生じていることから、補助金に限らずどのような支援が効果的か検討してまいります。

北空知における部活動地域展開に係る広域連携については、できる団体から取り組みを進め、部活動ではない地域クラブが学校部活動と同様の支援を受けることができる仕組みを検討してまいります。

子ども達がやりたい競技や文化活動を諦めることなく取り組めるよう、関係機関や地域、保護者の皆様のご協力をいただきながら、持続可能な環境構築に努めてまいります。



質問　藤岡 浩文 議員　防災士養成後の防災計画について



近年、各地で多発する災害に対し、国や地方自治体も政策を講じていますが災害時に行政が全てを担うことは困難であり、いかにして自助、共助の取り組みを進めるかが鍵と言われています。

防災士養成後の防災計画や自主防災組織の立ち上げなど町長のお考えをお伺いいたします。

町長答弁　防災活動に対して必要な支援をしていきたい

昨今の複雑かつ多様化する災害に立ち向かい、被害を最小限に食い止めるためには、地域住民が防災に関する知識と技能を身に着け、地域の人々が助け合う「共助」の力が必要とされています。

本町におきましても、防災に対する機運を高めていくとともに、防災士の有資格者を増やすことで、災害時の初動対応や避難所の運営など、大きな「共助」の力になるものと考えています。

自主防災組織は現在11町内会のうち8組織が設立され活動いただいています。

今後、防災士養成の取り組みが浸透し、有資格者の自主的な組織の形成や防災活動に対しては必要な支援をしていきたいと考えています。

今後も地域防災力を高め「防災に強い町」を目指し、取り組んでいきます。



防災訓練の様子

質問　寺迫 公裕 議員　次期町政担当の意思を聞きたい



7年前「この町に住んでよかった。生まれてよかったと思えるまちづくり」をスローガンに掲げ、見事、初当選を果たされました。

2期8年の間には、太陽光パネル設置、義務教育学校秩父別学園の開校など澁谷町政の実績は、多くの町民の皆様が認めているところであります。

来年2月の改選に向けて、現時点で考えが決まっていましたら、その意思をお聞かせください。決まっていなければ、いつ頃を目途に表明されるのか聞かせていただきたいと思います。

町長答弁　意思は固まっていない

早いもので、私が今の職に就かせていただき、7年半が経過しました。

町長に就任以来、今日まで、町民の皆様はもとより、

議会議員の皆様のお力添えをいただき、さらには職員の奮闘により、大過なく職責を果たすことができていると感謝しています。

私の次期選挙への姿勢についてですが、現在のところ、まだ意志は固まっていません。

町の状況を鑑みたとき、中学校跡地の利活用が未定でありますし、廃線となったＪＲ留萌本線のレール撤去、駅舎を含む敷地に関してＪＲ北海道との折衝、さらには国道に架かる跨線橋の撤去など事案が山積しています。

現在は、健康に問題はありませんが、改選時には73歳になり、４年間やり抜けることができるのか不安がないわけではありません。加えて、若い力にゆだねることも必要であると考えており、もう少し時間をいただき、10月中には結論を出し、皆様方にお知らせしたいと思いますので、ご理解をお願いします。

総務経済常任委員会【所管事務調査報告】

所管事務調査とは
委員会が自主的に町政の課題解決に向けて調査を行い、執行機関に対し具体的な政策や施策を提案するものです。

本委員会は８月21日に開催し、企画課及び住民課の所管事項について、担当者から説明を受け、質疑応答により調査を実施しました。

調査① 秩父別温泉の運営状況について

調査結果・意見

コロナ禍以降は生活スタイルの変化により宴会や宿泊客は減少傾向で、今後は施設稼働率の向上を目指しＰＲ活動をこれまで以上に取り組まれたい。

また、外観や景観の悪い箇所があるため早急に改善されたい。


秩父別温泉の外観

調査② 空家対策の現状と課題について

調査結果・意見

空家等情報登録制度や住宅用地取得補助金、住宅リフォーム補助金により空家の有効活用と移住・定住の促進を図っている。

所有者不明等の空家について、人身・物損被害、景観悪化など未然防止のため早期に対応されたい。


企画課から説明を聞く委員

調査③ 町立歯科診療所の運営状況について

調査結果・意見

昭和61年５月から委託していた医師が令和６年５月に退任され、町が運営を引継ぎ非常勤医師が週１日診察を行ってきたが、令和７年９月から新たな常勤医師が週５日の診療を再開している。

患者数も増加傾向にあり、今後も安定した健全収支を継続されたい。


改修工事を終えた歯科診療所及び歯科医師住宅

調査④ 認定こども園の運営状況について

調査結果・意見

保育士不足により、一時保育は休止中で、地域子育て支援センターも今年度８月から休止しているため、子育て相談や親子の交流の場が提供されていない。

更なる保育士確保に努められたい。


認定こども園運動会の様子

令和７年度決算審査特別委員会

令和７年度一般会計及び５特別会計について、決算審査特別委員会（委員長・松永議員、副委員長・眞島議員）に付託し審議しました。

各委員から町政全般、多岐にわたり多くの質疑がありましたので、その中からいくつか紹介します。



決算審査特別委員会の様子

◎コミュニティプラザの管理運営

問　**コミュニティプラザの管理運営については商工会が行っているが信金の利用料はどのようになっているのか。**

答　指定管理者は商工会で、その施設の中のテナントに北空知信用金庫秩父別支店が入居しています。

信金と町は契約を結び、家賃をいただいています。家賃については指定管理者の収入として施設管理運営に充当しています。

◎防災用トイレの購入

問　**防災備品については、備蓄食料品、衛生用品等であるが、どのような周期で入れ替えを行っているのか。**

答　基本的には賞味期限が切れたら破棄をするのではなく、水についても期限が切れる１年前くらいから各種イベントや学校の防災訓練等に活用させていただき随時更新をしています。

◎旧中学校避難所

問　**旧中学校が避難所に指定されていたが廃校によって解除されるのか、それとも万が一の場合は避難所として利用できるのか。**

答　旧中学校については、もう用途廃止をしておりますので、今後避難所として使用することはありません。

◎ゼロカーボンシティ推進事業

問　**ゼロカーボンシティの推進事業補助金について、何件の利用があったのか。**

答　利用件数は、令和７年度につきましては13件です。金額は４８３万４千円です。令和６年度は20件の利用がありました。

ゼロカーボン推進事業とは、太陽光発電や蓄電池設備の設置、トイレ、浴槽などを性能向上リフォームするものなどです。

◎施設等利用給付費負担金

問　**町外の幼稚園等に通っている子供に対する負担金ですが、令和６年度の倍近くの額になっているが、どういう内容なのか。**

答　令和７年度については７名の子供が町外の幼稚園等に通っています。令和６年度より３歳以下の子供が多いため負担金が増となっています。

◎福祉人材育成支援協議会負担金

問　**外国人の福祉人材育成支援協議会の負担金について、協議会と留学生の費用だと思うが３７２万円の内訳を聞きたい。**

答　費用の内訳については、協議会負担金２万円、学校納付金１０６万円、教材費25万２千円、寮費１０６万８千円、生活支援費として１３２万円の費用となっています。

◎ローズガーデン

問　**管理費増額の理由は。**

答　人件費が上がっていることに加え、前年度は人手不足で十分なパートを雇えず、人件費が過少となり、差額が大きくなりました。

◎新米普及マラソン大会

問　**経費増額の理由は。**

答　参加人数の増加と、賞品の新米価格高騰によるものです。



盛大に開催されたマラソン大会

◎土壌診断助成事業

問　**事業内容を教えてほしい。**

答　令和6～8年の3か年で約2，800か所をサンプリングし、今後の施肥設計、営農指導に活かす事業で、その経費を農協と折半しています。

◎橋梁点検

問　**どのような方法で何年ごとに実施するのか**

答　国が定める定期点検の資格を有する業者に委託し、5年ごとに点検しています。

◎合併処理浄化槽維持管理補助金

問　**維持管理補助金はどのように交付されるのか。**

答　年3回の保守点検と1回の清掃と北海道浄化槽協会の法定点検で交付されますが、休止期間があり点検が実施されなければ減額になります。

◎水道漏水調査

問　**水道の漏水調査は定期的に行われているのか。**

答　定期的には行っていません。システムの導入により、漏水区域がある程度特定できるので、その区域の調査を実施しました。

◎義務教育学校

問　**義務教育学校の物品の移転は、主に何か。**

答　家庭科室や理科室等の物品他、ピアノ、図書の移転、配架（並び替え）です。

◎大学等就学奨学金償還支援資金

問　**大学等就学奨学金と奨学金償還支援資金とは、それぞれどういうものか。**

答　大学等就学奨学資金は、町が学生に貸与する資金で保護者が町内に住所を有することが条件です。償還支援資金とは、学生時代に借りた奨学金の償還に充てるため、町が貸与する資金です。本人が町内に住所を有し、町内の事業所に就労していることが条件です。

◎タブレット端末

問　**児童生徒のタブレットは何年で更新するのか。**

答　バッテリーの経年劣化やOSサポートの終了に対応するため、5年を目途に更新します。古い端末はプライバシー保護の観点から原則処分します。

◎公設学習塾

問　**学習塾に係る費用の内容は。**

答　講師の人件費、教材費、コピー機等の使用料、模擬試験の費用も含めて委託となっています。


決算審査特別委員会委員長を務めた松永議員

町議会を傍聴しましょう

本会議は公開が原則であり、傍聴することができます。

次回の定例会は、12月中旬を予定しています。

お問い合わせ
秩父別町議会事務局
TEL 33-2111（内線25・26）



◎空知町村議会議長会主催の研修会への参加

7月15日、空知町村議会議長会議員研修会が長沼町総合保健福祉センターで開催されました。

研修会では、北広島市副市長の川村 裕樹氏から「北海道ボールパークFビレッジ 北広島市のまちづくり」について講演をいただきました。

川村氏は、2015年のボールパーク誘致構想段階からプロジェクト責任者として従事し、2017年からはボールパーク推進室長、2024年4月から副市長としてボールパークと連携したまちづくりを担っています。

「日本ハム・親会社」と「ファイターズ・球団」の両社とボールパークで何をしたいかの対話を繰り返し官民連携の総合プロジェクトを作り出してきたこと、その中で若手職員から「北海道ボールパークFビレッジ」の名称にあえて北広島を入れないことで北海道民が育てる球場にしたいとの意見で決まったなど、ボールパークとの連携による都市経営の持続性の強化・推進について語っていました。



空知町村議会議長会議員研修会の様子

◎北空知議会議長連絡協議会議員研修会に参加

7月23日、北空知議会議長連絡協議会主催（1市4町）の議員研修会が沼田町ほろしん温泉ほたる館で行われました。

研修会では、北海学園大学経済学部教授、西村 宜彦氏から「自治体の現状、課題と今後のまちづくり」と題し、講演をいただき、悪化する自治体財政、夕張市の財政再建20年など今後の自治体経営の課題と地域の未来についてのお話をいただきました。

本研修会で学んだアドバイス、アイデアを活かせるよう努めたいと思います。



北空知議会議長連絡協議会議員研修会の様子

◎1市4町自治体議員中央要望実行団による陳情

8月6日、北空知議会議長連絡協議会主催の中央要望が行われ、道内選出の14名の衆参両院議員のもとに、地域が抱える農業・医療・交通等の課題解決を求め要望書を提出してまいりました。

また、農林水産省研修会も行われ、来年度見直される水田政策のほか、担い手対策、資材高騰対策等の意見交換がなされました。

本町からは岡崎議員、松永議員が派遣されました。


要望書を手渡す議員団

◎読者に読んでいただける広報誌を目指して

8月18日、北海道町村議会議長会主催の広報研修会が札幌市で行われ、当町議会から議会広報公聴常任委員会委員4名が参加しました。

昨年に続き講師の議会サポーター芳野 政明氏から「議会の見える化＆住民との信頼関係を築き議会広報の基本と編集」と題した講演と広報クリニックの研修を受け、広報公聴により住民と情報共有、対話を促進し、議会活動の透明性や公平性を高め、住民との良好な関係作りが重要であると学びました。

読者に解りやすく伝え、参加を促す広報となるよう心がけ企画、編集するよう努めて参りたいと思います。

◎議会モニター懇話会を開催

10月13日、役場で議会モニター懇話会を開催し、モニターと議会議員の意見交換が行われました。


懇話会の様子

未来の町づくりへ！　町民との懇談会を開催

計７回開催　多くの町民の皆さまにご参加いただきました。

町民の皆さまから直接ご意見を伺い、議会の機能を高めるとともに、町民の皆さまと議会との距離を縮めることを目的として懇談会を７回開催しました。

そこでいただいた貴重なご意見をテーマ毎に整理し、報告いたします。

議 会

・町民アンケートは良い。参考になる意見がたくさんある。町民が町のことを考えている。
・議員選挙は町内会での推薦を廃止すれば、若者や女性が立候補しやすくなると思う。
・議員の政策や目標が町民に伝わっていない。
・町議会議員選挙は３期連続無投票は避けてほしい。
・議員定数は９人でよいのか。



子育て・教育

・認定こども園くるみに通えるようにしてほしい。何年も通えないと小学校入学時に顔見知りがいないため不安。
・「子ども誰でも通園制度」が始まっているが、保育士は確保されているのか。
・公設塾は続けてほしい。



公共施設

・無料の施設が多いので、町外利用者は有料にし、その代わりに町内で使用できる商品券等を配付して消費活性化を図ってはどうか。
・公共施設でも町民は無料で物品販売できるようにしてほしい。
・温泉は他町と比較してＰＲが足りない。
・避難所となる施設にWi-Fi環境を整備してほしい。

町内会

・高齢化により会館の維持管理が厳しくなってきている。町内会の存続も危うい。
・老人クラブの在り方を考える時期なのでは。

高齢者福祉

・高齢者タクシー助成は、通院に限り町外でも可能にしてほしい。
・高齢者向け公営住宅を増やしてほしい。

インフラ・環境

・町道の草刈りは回数を増やして法面下まで刈ってほしい。
・将来が不安なので、身寄りのない人が公営住宅に入居するときは保証人免除を考えてほしい。
・町道除雪は素晴らしいが、家の前に寄せられる雪処理がたいへんなので対応策を考えてほしい。

地域経済

・企業誘致で雇用の場を増やしてほしい。
・若い世代を移住・定住させる政策をしてほしい。





広報公聴常任委員会　眞島委員長からのコメント

議会改革活性化特別委員会からの提言により、議長室で開催した令和６年１月24日を皮切りに、令和８年２月にかけて計７回の懇談会を開催させていただきました。

ご多忙の中、総勢100名を超える皆さまにご参加をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまからいただいた貴重なご意見・ご要望は議会全体でしっかりと共有させていただき、一般質問、各委員会等ではさらに精査・議論を重ね、町民の皆さまの生の声として確実に町政へ届けてまいります。

今後とも議会活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

長期間にわたりご協力いただき、誠にありがとうございました。

所管事務調査申し出

議会閉会中の所管事務調査について、各委員会から、次のとおり申し出がありました。

○総務経済常任委員会
・町税の収納状況について
・秩父別振興公社における加工用トマト生産状況について
・地域公共交通の現状と課題について
・ふるさと納税の現状と課題について
・農作物の収穫状況について
・農地の移転状況について
・秩父別学園の運営状況について

○広報公聴常任委員会
・議会広報誌の編集及び発行に関する事項について
・議会広報及び公聴の実施、調査及び研究に関する事項について

○議会運営委員会
・次期町議会（定例会までの臨時会を含む）の運営について

議会の主な動き

【8月】
3日　空知町村議会議長会中央要望実行運動（～5日）
4日　秩父別町と鈴木知事との懇談会
5日　北空知議会議長連絡協議会中央要望実行運動（～7日）
7日　萬霊供養塔慰霊祭
8日　第3回ちっぷべつ夏まつり
17日　ちっぷ納涼盆踊り大会
18日　北海道町村議会議長会議会広報研修会
21日　総務経済常任委員会所管事務調査
24日　空知町村議会議長会第3回役員会
28日　秋の水天宮祭・断水式
31日　議会運営委員会

【9月】
1日　町内五団体親睦パークゴルフ大会
2日　町政討論会
4日　表彰審議会
8日　全員協議会・第3回町議会定例会（～10日）
9日　全員協議会・広報公聴常任委員会
15日　秩父神社例大祭
30日　故渡辺孝一氏を偲ぶ会

【10月】
1日　広報公聴常任委員会
2日　空知町村議会議長会第2回定期総会
4日　綾川町長来町
11日　第15回秩父別産新米普及マラソン大会
13日　広報公聴常任委員会
15日　議会モニター懇話会
21日　新潟県出雲崎町議会行政視察
22日　老人オリンピック大会
25日　総務経済常任委員会所管事務調査
29日　綾川町合併20周年記念式典
30日　全員協議会
町政功労者顕彰式

編集後記

○廃線となったＪＲ留萌本線の踏切は一時停止せずに通行してよいことになりましたが、それ以外のＪＲ函館本線などの踏切では必ず一時停止しなくてはいけません。油断は禁物です。
　運転に集中して交通安全に努めましょう。

○サツマイモや落花生を趣味で栽培する方が増えているようです。
　雨不足や高温を乗り越え、今年はとても美味しい出来となっているようですので、美味しくいただくためにも野生動物からの食害がないことを願います。

○夏の猛暑で思っている以上に身体に負担がかかっています。
　おいしい新米を食べて体調管理に努め、健康にお過ごしください。

（中西）

11月は「ねんきん月間」、11月30日（いいみらい）は「年金の日」です！

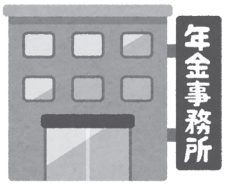
厚生労働省では、「国民お一人お一人、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、毎年11月30日を「年金の日」としています。

この機会に、「ねんきんネット」でご自身の年金記録や年金受給見込額を確認し、将来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」では、パソコンやスマートフォンからいつでもご自身の年金記録を確認できるほか、ご自身の年金記録からさまざまな条件を設定した上で、年金見込額の試算をすることもできます。

また、マイナポータルと連携することで、国民年金保険料の口座振替申出等の電子申請やe-Taxでの確定申告で利用可能な控除証明書等の電子データの取得ができます。

詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧下さい。



○日本年金機構ホームページ（ねんきんネット）
https://www.nenkin.go.jp/n_net/

お問い合わせ
日本年金機構「ねんきん定期便・ねんきんネット専用電話」０５７０－０５８－５５５
砂川年金事務所お客様相談室　電話　０１２５－５２－３８９２（音声案内①→②）

令和９年度自衛隊募集対象者の除外申請について

町では毎年、自衛隊が募集対象者への案内を送付するため、自衛隊法等に基づき、自衛隊に個人情報の適切な管理徹底を求めたうえで対象者の情報を提供しています。

自衛隊にご自身の個人情報の提供を望まない方は、除外申請の手続きをしていただくことにより、自衛隊へ提供する情報から除外いたします。

【対 象 者】・15歳になる方：平成24年４月２日～平成25年４月１日生まれ
・18歳になる方：平成21年４月２日～平成22年４月１日生まれ
・22歳になる方：平成17年４月２日～平成18年４月１日生まれ

町ＨＰ
二次元コード

【受付期間】令和９年３月31日（水）まで

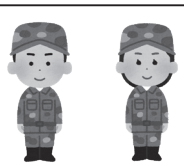
【申請方法】町ホームページからダウンロードした申請書に必要事項を記入して、申請してください。
※ 詳細は町ホームページをご確認いただくか下記担当にお問い合わせください。

お問い合わせ　総務課防災係　０１６４－３３－２１１１（内線32・34）

令和８年度自衛官等募集案内

●２等陸・海・空士

資　　格	日本国籍を有し、採用予定月の１日現在18歳以上33歳未満の男女
受付期間	年間を通じて受付を行っております。
試験期日	１月17日（日）または18日（月）　のいずれか１日
試験会場	陸上自衛隊旭川駐屯地（旭川市春光町）



●お問い合わせ先
自衛隊旭川地方協力本部 旭川地区隊
電話０１６６－５５－０１００

アンの秩父別タイ在記

毎月連載！

Vol.89　「タイで秩父別をＰＲ！」

皆さん、こんにちは！

紅葉を見る季節になりましたね。秩父別の中で私が一番気に入った紅葉スポットは「ローズガーデンちっぷべつ」の入り口にある小さな公園です。見たことがあるでしょうか？なかったら、ぜひ見に行ってみてください！

今月、秩父別を訪れたお客さんは 16 人です。農業体験をしたり、ピザを作ったり、自転車で散策したりしました。そして、16 人の内５人はリピーターです。前回来た時にここが気に入ったので、もう一度訪れてくれたそうです。インバウンド事業の担当者としても、秩父別町民としても、うれしく思います！

また、10 月 16 日から 19 日まで、タイの首都・バンコクで、タイの方々に秩父別町を PR してきました。参加したのは、日本への旅行が好きな人が集まり、日本全国の市町村やタイの旅行会社や航空会社がブースを出す大きなイベントです。

バンコクやその周辺では、大雨による洪水被害が発生していたこともあり、このイベントに参加できる方が少ないだろうと思っていましたが、意外と多くの方が来てくれました。さらに、私のＳＮＳをフォローして、私のことや秩父別町のことを知っていたお客さんも多くいました。

来年もこのようなイベントがあれば、また参加したいと思います！



タイのイベントの様子

ちっぷべつ地域おこし協力隊 活動日記vol.64

こんにちは、協力隊の岩山です。

秩父別に来て、二度目の秋を迎えました。気温もだいぶ下がってきて、朝晩の冷え込みを感じています。

活動としては、9 月 12 日に筑紫神楽獅子舞演舞、9 月 26 日・27 日に開催された加工センターくるり利用体験会に参加しました。

獅子舞では荷物を運ぶのが主な仕事でした。実際に踊っている姿を初めて見ましたが、激しい踊りで、とても迫力があると感じました。来年は、実際に踊ったり、太鼓を叩いてみたいと思います。

くるり利用体験会では、ピザとクレープ作りを行いました。ピザは、ジャガイモをメインにしたものと、ブロッコリーやトマトを使ったものの２種類を作りました。

見本のピザを参考に作りましたが、ジャガイモが少し硬かったのでまだまだ伸びしろがあると感じています。

クレープには、米粉を使用しました。実際に食べてみるとお店で売っているクレープに負けないくらい美味しいクレープができました。

間もなく二度目の冬を迎えます。今年の冬は、まだ経験したことのないことに挑戦していきたいです。


筑紫神楽獅子舞演舞に参加しました

ちっぷっ子「ハロウィンミニパーティー」

～ おばけもびっくり？楽しいパーティー ～

10月28日、ちっぷっ子ふれあいスクールで「ハロウィンミニパーティー」が行われました。

参加した子ども達は、ハロウィンにちなんだ工作やゲームなどを楽しみ、少し早いハロウィンを満喫しました。



「カボチャの風船入れ」両チーム一歩も譲りません！



「おばけの早食い競争」真剣勝負！

第５回 秩父別町二十歳のつどい

20歳の区切りを迎え、次代を担う若人を祝福する「第５回秩父別町二十歳のつどい」を、次のとおり開催いたします。

本町に住民登録されている方につきましては、11月上旬頃に本人又は町内自宅等に案内文書を送付予定です。また、町外居住者で参加を希望される方は、11月上旬頃から参加申し込みの受付を開始する予定です。

ご不明な点がございましたら、教育委員会までお問い合わせください。

≪二十歳のつどい日程≫

◆**日　時**　令和９年**１**月**９**日（土）

◆**会　場**　ファミリースポーツセンター

◆**日　程**　受　　付　１３：００～１３：３０

　　式　　典　１４：００～１５：００

◆**対象者**

①平成18年４月２日～平成19年４月１日に出生した方で、本町に住民票のある方

②上記生年月日の方で、就職・進学などで現在町外に居住し、本町の二十歳のつどいに参加を希望される方

◆問合せ先　教育委員会社会教育・社会体育係　電話０１６４－３３－２５５５

図 書 館 だ よ り

◇◆絵本作家かとうまふみさんワークショップを開催しました◆◇

９月13日、絵本作家かとうまふみさんのワークショップを開催しました。

当日は16名の方にご参加いただきました。かとうさんによる絵本の読み聞かせを行なったほか、参加者は雪の結晶をかたどった切り絵作りに挑戦し、完成した切り絵を、かとうさんが絵を描いた長ロール紙に貼って飾りました。参加者はとても楽しそうに作品づくりを行なっていました。

完成した作品は現在図書館のホール上部にて展示しております。

ぜひ足をお運びいただき、素晴らしい作品をご覧ください。



【お問い合わせ】　秩父別町図書館　電話（0164-33-2220）

○ 教育通信に関するお問い合わせ先 ○

教育委員会社会教育・社会体育係　【電話０１６４－３３－２５５５】

まちのわだい



広報に掲載した写真をご希望の方、広報誌に関するご意見、ご要望は、総務課広報係までご連絡ください。
※写真は電子メールによる提供も可能です。
・電　話　０１６４－３３－２１１１（内線 32・34 番）
・メール　kouhou@chippubetsu.jp

9/30 「腸活」をテーマに男性向け料理教室を開催



生き活き館で、男性向けの料理教室「イケ男★食の道」が開催されました。当日は６名が参加し、管理栄養士による講話を聞いた後、腸活料理「ごぼう入りつくね」、「えのきのごまマヨ和え」、「ねばうま納豆」の３品を調理しました。腸の健康を意識した食生活について学ぶ良い機会となりました。

9/30 秩父別学園野球部・陸上部全道大会出場を報告



秩父別学園の野球部と陸上部の代表生徒が役場を訪れ、町長に全道大会の結果を報告しました。それぞれの代表生徒からは、大会に出場して得た貴重な経験が報告されました。報告を受けた町長からは「今後も目標に向かって競技に励み、頑張ってほしい」と激励の言葉が贈られました。

10/1 永年のご功労に感謝　教育委員感謝状贈呈



９月30日をもって任期満了により教育委員を退任された南洋子さんに、町長から感謝状が贈呈されました。南さんは、平成27年４月に教育委員に就任されて以来、11年６か月の永きにわたり、本町の教育の振興・発展に多大なご貢献をいただきました。これまでのご功労に深く感謝申し上げます。

10/8 秩父別ライオンズクラブ 交通安全キャンペーン

秩父別ライオンズクラブ（松永徹会長）と町商工会青年部・女性部の合同で「交通安全キャンペーン」が行われ、秩父別駐在所、町交通安全指導員会協力のもと、コミュニティプラザ前を通行する車のドライバーに「ポテトちっぷべつ」とお茶を手渡し、安全運転を呼びかけました。



10/14 健康意識を高めよう！ 秋の住民健診実施

総合福祉センターで、10月14日から16日までの3日間、秋の住民健診が実施されました。会場では、健康状態を確認する健診に加え、春の健診に引き続き、町の保健師と管理栄養士が作成した健康に役立つ食材の展示やレシピ動画の放映などを行い、来場者に「腸活」について分かりやすく紹介しました。



10/20 ご当地グルメが登場！ 秩父別学園ご当地給食

秩父別町のご当地グルメ「ちっぷべつ緑のナポリタン」が、秩父別学園のご当地給食として登場しました。緑のナポリタン推進協議会のメンバーらが校舎内で調理した出来立てが提供されました。いつもとは違う給食を楽しむ児童生徒たちの笑顔が見られ、おかわりには行列ができるほどの大好評となりました。



10/23 三つ巴の熱戦！ 第46回老人オリンピック

町老人クラブ連合会主催の「第46回老人オリンピック」がファミリースポーツセンターで開催されました。各老人クラブが３チームに分かれ、「ボールはこびリレー」、「スカットボール」、「紅白玉入れ」など、計６種目で競い合いました。会場では熱戦が繰り広げられ、最後まで目の離せない展開となりました。



おたんじょうおめでとう

町内名	氏名	父の名
中央西	髙橋 皇樹（おうじゅ）	洋貴

おくやみもうしあげます

町内名	氏名	年齢
筑紫	四十坊清吉	94歳
北新	福島 正春	95歳
筑紫	川上 徹	84歳
駅前	村重 晃	90歳

（敬称略）

◆◇ 戸籍の窓 ◇◆

令和8年10月末日現在	人口 2,064人（－8人） 男 969人（－5人） 女 1,095人（－3人） 世帯数 1,030戸（－4戸）
10月中の動き	出生 1人・死亡 4人 転入 0人・転出 5人

秩父別町冬期地域振興券を発行します

町では、物価高騰・冬の灯油代等の影響を受けている町民生活を支援することを目的として、町内各店舗で使用できる「地域振興券」を発行します。

地域振興券は、12月1日（火）以降、**世帯全員分をまとめて世帯主あてに**「ゆうパック」でお届けいたします。

〇対 象 者　令和8年11月15日（日）を基準日として、秩父別町に住民票がある方
〇金　　額　1人につき10,000円分（500円×20枚綴り×1冊）
〇使用期間　令和8年12月1日（火）～令和9年2月28日（日）
〇そ の 他　注意事項や利用店舗の詳細については、振興券送付時に同封の案内をご確認ください。
※ 順次配達となるため、世帯によって到着日が異なります。



◆お問い合わせ　産業課商工・観光・労働係　電話 0164－33－2111（内線64）

個人事業税のお知らせ　～北海道からのお知らせ～

◎11月30日（月）は、個人事業税第2期の納期限です。

納税通知書は、8月に第1期分納付書と一緒に送付していますので、お確かめの上、キャッシュレス納税、金融機関、郵便局、空知総合振興局深川道税事務所の窓口又はコンビニエンスストア（1枚の金額が30万円以上のものを除く。）で納期限までに納めてください。

第2期の納税通知書がお手元にない場合は、ご連絡ください。

◎個人事業税の納税相談は、深川道税事務所まで。

◆個人事業税の猶予制度について

一時に納めることができない場合は申請により納税が猶予される制度がありますので、ご相談ください。

◆お問い合わせ　空知総合振興局深川道税事務所　電話 0164-23-3578

■発行・編集／秩父別町総務課広報係　〒078－2192　雨竜郡秩父別町4101番地
TEL　0164－33－2111　メールアドレス　kouhou@chippubetsu.jp
■発行日／令和8年11月6日（月1回発行）　■印刷／ライタス

PRINTED WITH SOY INK